

始動

平成24年度の町政の方向を決める町議会3月定例会は、3月7日から16日まで開かれました。定例会初日の7日、鈴木重男町長はまちづくりの重要施策について、町総合計画の体系ごとに力強く施策方針を述べました。（内容は要約しています。全文は町のホームページをご覧ください）

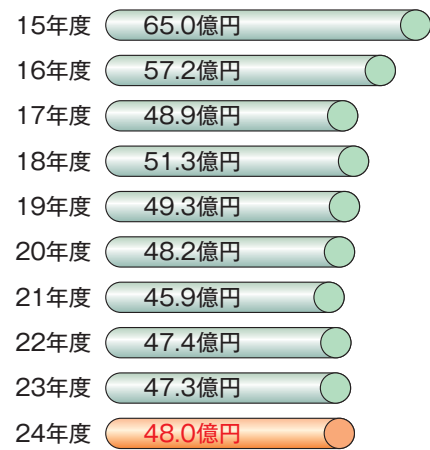


平成24年度予算は 総額72億円に

会計名	予算額	伸び率
一般会計	48億476万円	1.6%
国民健康保険事業勘定特別会計	10億5879万円	△4.9%
簡易水道事業特別会計	1億6736万円	△0.8%
農業集落排水事業特別会計	1億8559万円	△7.0%
後期高齢者医療事業特別会計	6667万円	0.3%
国民健康保険病院事業会計	9億2140万円	0.2%
総合計	72億460万円	0.1%

※国民健康保険病院事業会計は、収益的収支のうち収入の額

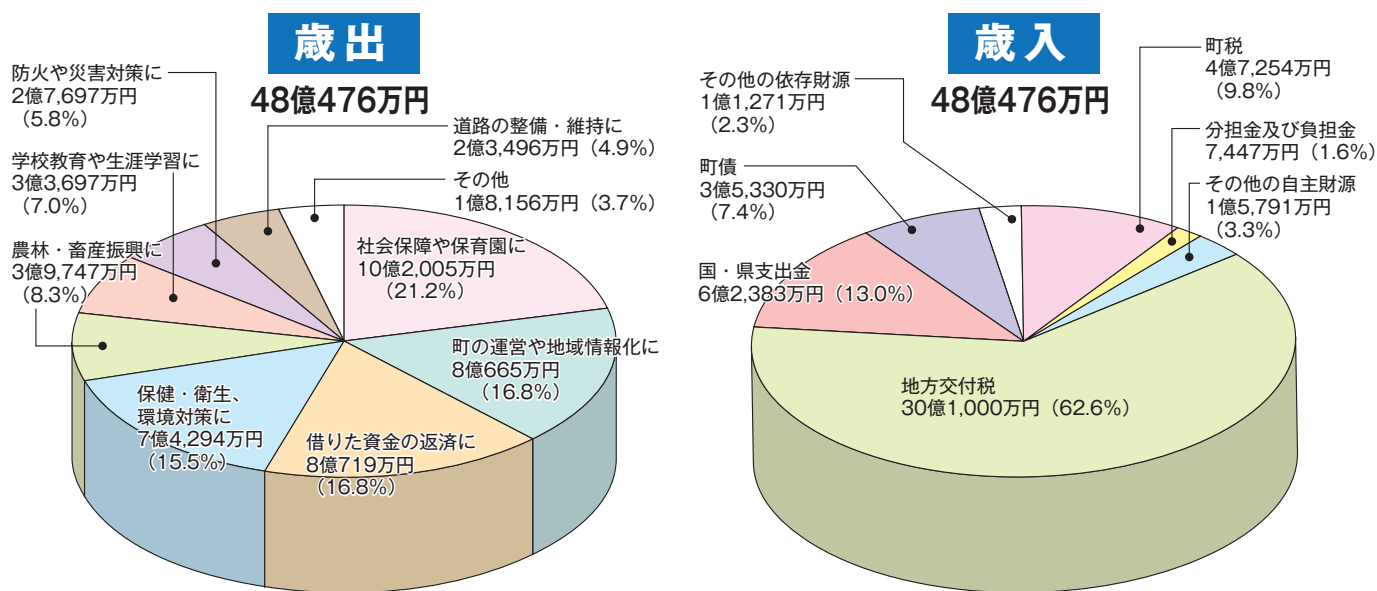
一般会計当初予算の推移



平成24年度の一般会計と特別会計の予算が3月町議会定例会で決まりました。総額は72億460万円、前年度を0.1%上回りました。一般会計の総額は、前年度を1.6%上回る48億476万円です。さらに、23年度からの繰越事業として、災害復旧事業で4億2千万円、当初計上分の普通建設事業で1億6000万円、国の3次補正に伴う補助事業で4億5000万円の事業費を見込み、24年度の執行額ベースでは58億円規模となります。

歳入のうち、町税は雇用状況の悪化などによる落ち込みを見込み、1.5%減の4億7254万円です。歳入の62.6%を占める地方交付税は30億1000万円、前年度より4000万円下回る見込みです。歳出のうち、いわゆる借金の返済に充てる公債費は6.4%減の8億719万円、年々順調に減少しています。

一般会計当初予算の内訳



町民一人当たりで計算すると (24年3月1日現在の人口7,329人で計算)	受けるサービス	65万5,582円	町税の負担	6万4,475円
--	---------	-----------	-------	----------

まちづくりの 重点施策

町 民が抱える不安を一つ一つ解消することで、安心して暮らせる環境を整え、「住み続けたいまち」を実現するための基本方針として位置づけ、多くの町民の皆さまのご意見をいただきながら計画策定を進めて参りたいと考えております。

今年度は、各分野において「安心して暮らせるまちづくり」を主眼にハード・ソフト

今 年は復興元年として位置づけ、国・県は、「大震災からの復興、農林漁業の再生」を両輪としております。こうした中で、町は東日本大震災の経験を踏まえ、被災地の支援を進めながら防災対策をはじめ、生活・医療・定住・子育て支援、再生可能エネルギー導入など「安心して暮らせるまちづくり」のため新規事業を盛り込みます。

さらに農林業の振興・6次産業化の推進、中心市街地の活性化などに重点的に取り組む考えであります。

のバランスを取りながら推進して参ります。

町民の「安全安心なまち」実現に向けては、防災拠点となる小・中学校の太陽光発電施設整備、携帯電話不感地域の解消、町内バス路線の運行本数拡大を進めます。

基幹産業の振興に向けては、粗飼料自給率向上、搾乳牛増頭、優良後継牛確保、肉用牛改良、農畜産物加工ブランド化などにより足腰の強い畜産経営の確立を目指します。

中心市街地活性化については、まちなか活性化協議会活動支援、街路灯のLED化、中心市街地再整備の具現化に向けて取り組んで参ります。

定住促進については、定住

者奨励金交付、新婚ライフサポート金支給、定住化促進住宅整備などに取り組んで参ります。

子育て支援については、医療費助成の拡大、予防接種費用助成、発達障がい児対策などに取り組んで参ります。

震災復興支援については、町の災害復興基金を活用して、被災市町村への職員派遣、被災地生徒等受入支援、被災地支援団体の活動支援などを実施して参ります。

また、繰越事業として、災害に強い情報通信基盤施設の構築、災害復旧対策、葛巻小学校屋内プール整備、くずまき交流館プラトール浴室増築などを進めて参ります。

